

日本防災士会 千葉北

第 33 号 2018 年 7 月 1 日発行

今号の内容

- 北部支部定期総会が開催 1
- シリーズ「地区防災の推進」 2
一 習志野市本一町会
- 北部支部会員さん紙上インタビュー 6
小椋養一さん 6
鈴木不二美さん 7
- 会員短信 白川 恵さん 8
- 北部支部の防災支援活動 9
- 新会員紹介 10
- 編集後記 11

北部支部

定期総会が開催

平成 30 年度定期総会が 4 月 21 日(土) 船橋市中央公民館で開催され、委任状を含む 76 名の出席を得て以下の第 1 号議案から第 5 号議案までが審議され提案内容通り承認されました。



中村支部長挨拶

- 第 1 号議案 平成 29 年度事業活動報告
- 第 2 号議案 平成 29 年度会計報告
- 第 3 号議案 平成 30 年度活動計画 (案)
- 第 4 号議案 平成 30 年度予算 (案)
- 第 5 号議案 役員改選 (案)

平成 29 年度の事業活動報告では平成 28 年度を大幅に上回る 127 回（前年度比約 20%増）の地域防減災力向上支援活動などの模様が報告されました。また会員の知識・技能向上に資する 14 回のスキルアップ研修、会報の定期発行、本部ホームページへの随時情報発信、メールによる会員へのお知らせ情報などの配信、北部支部ホームページでの活動報告などの活発な広報活動について報告がなされました。

平成 30 年度の活動計画では地域防減災力向上支援活動を継続すること、市区町村の各地区の居住者による自発的な防災活動を促してゆくこと、防災リーダーとして必要なスキルアップ研修を継続・充実させること、支部ホームページ、本部ホームページ、支部会報、支部パンフレットなどを通じて北部支部の活動を広く一般市民に公開し新規協

力案件取得に努めることなどが提案され承認されました。

次の方が新たに副支部長、支部幹事、監査委員に任じられました。(敬称略)

副支部長：小椋養一、熊澤 晃、平山優子、藤田隆雄、渡邊一弘

幹事：浅野幸輝、榎本和幸、岡田和也、佐藤修一、櫻木谷洋、高場捷美

監査委員：高崎勝利

総会に続き千葉工科大学危機管理部教授の船倉武夫氏と「いいおか津波を語り継ぐ会」の高橋進一防災士による「防災士に期待すること」と題する講演が行われ、「災害によって被害状況や死因は大きく異なるので一つの固定した考え方を押し付けないこと」、「生き残った人が人を助けることができる。生き残ることが大事」という自助の意味をしっかりと定着させることの大切さなどが話されました。また同大学の学生を対象にしたアンケート調査で「(大学の授業で) 防災士の資格を取ることが災害時に役立つ」と回答した学生が 70%を超えていることが紹介され、防災士に対する地域社会の期待が大きい事が話されました。



シリーズ「地区防災の推進」—習志野市本一町会

習志野市の本一町会(約 320 世帯)における自主防災部を中心にした防災の取り組みを紹介します。平成 20 年に筒井義臣防災士は町会の事務長を経てその後会長になり「防災の活性化が必要だ」と感じました。町会には市のマニュアルにそった 6 班の防災組織がありましたが人の配置が中々できない状態で、地域に合った組織作りに取り組み、機動的、弾力的に動ける対策 3 班を作りました。この自主防災部は町会組織の中の組織として副会長が防災部長を兼務して平常時の備えと啓蒙、災害時の対応を行うこととしてい

ます。対策3班は以下の通りです。

- 実行実働班（救出・救護担当）
- 支援補給班
- 情報連絡班

情報連絡班は平常時においては防減災活動の年度活動計画を立て、訓練などの企画と訓練の事前検討から実施、運営までを担当します。筒井防災士は情報連絡班の班長として防災部長を補佐して活動を始めました。

町会では従来から7組の組織を編成して防災活動などを行ってきましたが、役員が1年交代であるため持続的な活動を担うことが困難でした。そのため向こう三軒両隣を基本組織とする自主防災体制を作り、それを担う防災協力員制度を作りました。防災協力員のミッションは「自分と家族が無事ならご近所を助ける！わが家が被害に遭ったら助けてもらう」「普段はできる範囲で防災活動に参加する」というものでその活動内容は以下の通りです。

- 町内会に設置してある34ヶ所の街頭消火器の各1本がカバーする範囲を一つの防災区画（テリトリー）とする。平均して約8世帯がひとつの防災区画を構成し共助のセーフティネットワークを作る。
- この防災区画に居住する住民全員の点検表を作成し消火器収納箱に常時保管する。
- 各防災区画に1名以上の防災協力員を作り防災責任者になってもらう。
- 災害発生時には消火器収納箱に保管する点検表をもとに防災協力員が中心になり区画内住民全員の安否と被害の有無を迅速に確認する。
- 町会の災害対策本部は各防災区画からの報告を受け必要な支援を迅速に実行する。



安否確認点検表の取り出し



安否確認結果の集約

防災協力員は現在 124 名が任命されており、町会内の 34 の防災区画に平均 3 名～4 名が配置され充実した体制となりました。防災協力員の任期は 2 年で委嘱されますが支障が無ければ継続をお願いしています。年度初めにキックオフ訓練を行って活動の継続を図っています。

町会では年度ごとに以下の基本スケジュールに従って自主防災計画を作り訓練を通して改善とレベル向上に努めています。

- 3 月 前年度防災活動の結果レビューと新年度防災計画案の作成
- 4 月 新年度防災計画の承認（町会定期総会）
- 5 月 新年度防災計画の細部作成と年度協力員体制のキックオフ（結団式）
- 6 月～ 春季、秋季、冬季防災訓練実施（年 3 回）

訓練の実施にあたっては事前準備のための検討会と事後の反省会を持ちます。



秋季夜間防災訓練

各防災訓練には防災協力員が参加し「命を守る、生き延びる、火事を出さない」を基本テーマにして災害発生→安否確認・救護（防災区画単位）→災害対策本部で安否情報集約→必要な救護派遣の流れで行われます。防災協力員が参集した段階で対策本部の立ち上げと運営訓練が行われます。毎回同じ訓練の繰り返しではなく都度訓練内容と目標を変えながら工夫して実施し、終了後には必ず反省会を持ちます。訓練内容を検討する際には毎年実施する住民への防災アンケートの集約結果が貴重なデータとなります。

上記の防災訓練の他に以下のような事を実施しています。

- 毎月 1 日に災害用伝言ダイヤル 171 訓練（町会長、防災部長宅から住民宅に電話を入れ防災ひとロメモなどの情報を伝える）
- 春季お花見の会（住民ふれあい交流の場）
- 防災の集い・秋季いも煮会（住民ふれあい交流と避難場所確認訓練）
- 防災リーダースキルアップ研修会（市の研修会に参加）

- 防災器具の定期点検・整備
- 住民への防災アンケート（防災訓練内容への反映）
- 学校区防災訓練（他の町会との連携確認・強化）

本一町会は若い人が減少し高齢化が進んでいます。そうした状況を踏まえて1) 無理をしない、2) やれる人がやれる範囲で、を基本モットーにして防災活動を進めています。そして「生きること、生き延びること」を最優先の目標にしています。

本一町会の自主防災活動が持続発展している要因として以下の事が挙げられます。

- 防災協力員体制による 24 時間セーフティネットワークづくり
- 街頭消火器を中心として向こう三軒両隣の共助活動
- シンプルな三つの対策班による高齢者中心の少ない人員でも迅速に災害対応できる体制

本一町会は平成 26 年度に総務省の「防災まちづくり大賞」と「千葉県知事賞」を受賞しました。



筒井防災士

♪北部支部会員さん 紙上インタビュー♪

小椋養一（おぐら よういち）さん



Q. ご出身地と自己紹介を簡単にお願いします。

A. 長野県佐久市で享保年間より伝統工芸、木地師の家系に生まれました。

Q. これまでのキャリア（お仕事など）を教えてください。

A 商社とゼネコンを経て木製品家具製造と木製品塗装会社を起業しました。

Q. 特技、お持ちの資格、得意分野を教えてください。

A 建築設計士、塗装技能士、商業施設士、危険物取扱者、甲種防火管理者、応急手当普及員、災害住宅調査員、空手3段などです。

Q. 防災士になられたきっかけはなんですか？

A. 阪神淡路大震災の後応援要請があり現地調査をしました。その時に防災士を知り防災士になろうと決意しました。

Q. 地域や職場で何か防災活動に取り組んでおられますか？

A. 地元で色々な役職を引き受け防災ミニ講話などを行っています。

Q. 2011年東日本大震災の時にはどのような体験をされましたか？

A. 野田市で会議中でした。災害の情報を収集して夕方には宮城県に向かいました。

Q. 今、はまっていること、熱中していること、趣味などがありましたら教えてください。

A ゴルフ、へら鮎釣り、麻雀、よさこい踊り、お遍路（四国88ヶ所をもう一度歩いて周りたい）などです。

Q. 北部支部の活動に期待すること、取り組んでみたいこと、ご意見などがありましたらお聞かせ下さい。

A. 千葉県の防災士会組織の一本化ができると良いと思います。

Q. 将来の夢をお聞かせ下さい。

A. 宝くじを当て防災用の素敵な米国車を購入することです。



♪北部支部会員さん 紙上インタビュー♪



鈴木不二美（すずき ふじみ）さん

Q. ご出身地と自己紹介を簡単をお願いします。

A. 内房線木更津駅から超ローカルな久留里線の終点から2番目の「上総松丘駅」で下車し、房総丘陵の中央部に位置する「君津市」が出身地です。

Q. これまでのキャリア（お仕事など）を教えてください。

A. 千葉県消防署に勤務し災害、救助、消防航空、地震対策など事務的な業務も含め災害時対策活動に直結する仕事を主にやってきました。

Q. 特技、お持ちの資格、得意分野を教えてください。

A. 特技は特にありませんが得意な分野は初期消火・救助訓練などの実技指導、地震火災予防に関する講話などです。

Q. 防災士になられたきっかけはなんですか？

A. 自分にできる社会参加と貢献は何かと自問自答した末、市民の防災力の向上に役立ちたいと思い資格を取りました。

Q. 地域や職場で何か防災活動に取り組んでおられますか？

A. まだ特にありません。

Q. 2011年東日本大震災の時にはどのような体験をされましたか？

A. 浅草の8階建てのビルで勤務中でした。長い揺れに驚きましたが社員に初期対応の声掛けをし「自衛消防組織」を立ち上げ被害状況の把握、2次災害の防止などの自衛消防活動を行いました。

Q. 今、はまっていること、熱中していること、趣味などがありましたら教えてください。

A. 野遊び（四季の移ろいを見るのが好きです）、家庭菜園、ガーデニング、旅行、陶芸です。陶芸は窯もありますのでやってみたい方がおられましたらお手伝いいたします。

Q. 北部支部の活動に期待すること、取り組んでみたいこと、ご意見などがありましたらお聞かせ下さい。

A. 北部支部の活動は社会的な信頼が高く素晴らしいと思います。自身の体調管理をしなければならぬため不規則な活動しか出来ずご迷惑をおかけしていると思いますがよろしく願いいたします。

Q. 将来の夢をお聞かせ下さい。

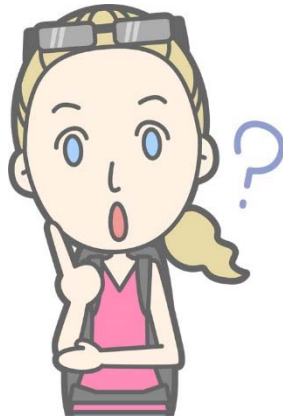
A. 防災活動を通じた市民との交流の中で少しでもお役に立てればと願っています。地震火災の防止、延焼拡大防止などを呼び掛けてゆきたいと思っています。

～会員短信～

外国人市民を助ける活動 白川 恵防災士



白川 恵防災士は昨年 11 月に行われた千葉市多文化協働ネットワーク会議に参加しました。防災、子育て、介護などの生活場面において外国人が文化や言語の違いによって遭遇する課題を話し合い、共に解決してゆくことを目的としています。外国人市民に対する生活情報提供上の問題点や多言語に対応するためのツールなどについて日本人関係者で協議を行った後、外国人市民（今回はパキスタン、ベトナム、英国、フィリピン、ミャンマー）が参加して国別に分かれてグループ討議を行いました。白川防災士はベトナム人がいるグループの討議に参加しました。日本人を夫に持つ大変にシャイな若い女性でしたが直接日本語で会話することは困難で夫を介してかろうじてコミュニケーションができるレベルでした。こうした人達に対しては出来るだけ易しい日本語で話すこと、相手の国の言葉で笑顔で挨拶を交わす努力が望まれます。災害発生時にはこうした外国人市民も「共助」「互助」の大切なパートナーとなります。



～北部支部の防災支援活動(2018年3月～5月)～

北部支部は以下の防災行事に参加協力しました。

ご協力大変にありがとうございました。

- 3月2日(金) 船橋市立湊中学校救命講習
- 3月3日(土) 印西市中央公民館「災害対策講座」
- 3月7日(水) 八千代台東南公民館防災講座(八千代市)
- 3月8日(木) 千葉市ツインビル防災訓練
- 3月10日(土) 印西市馬場町内会防災訓練
- 3月11日(日) グリーンハイツ八千代防災訓練(八千代市)
- 3月11日(日) 印旛郡栄町龍角寺台自治会救命訓練
- 3月15日(木) 東葛クリニック災害対策研修会(松戸市)
- 3月17日(土) 木更津市中央公民館防災講座
- 3月17,18日(土日) Japan ドラッグストアショー2018(千葉市)
- 3月20日(火) 富里市ボランティアセンター防災訓練
- 3月24日(土) 千葉県立中央博物館防災訓練(千葉市)
- 4月23日(月) ヨガサークル「忘れな草の会」救命講習(松戸市)
- 4月28日(土) 瀬谷住宅公園防災訓練(横浜市)
- 4月29日(日) ハウジングプラザ横須賀防災訓練(横須賀市)
- 4月30日(月) ハウジングプラザ港南台防災訓練(横浜市)
- 5月3日(木) 船橋アリーナ「子供の日フェスタ」防災訓練(船橋市)
- 5月4日(金) 全国子供防災学校(東京都)
- 5月4日(金) 厚木住宅公園防災訓練(厚木市)
- 5月5日(土) 全国子供防災学校(東京都)
- 5月6日(日) 全国子供防災学校(東京都)
- 5月6日(日) 秦野住宅公園防災訓練(秦野市)
- 5月10日(木) 船橋市立湊中学校救命講習
- 5月11日(金) ㈱アルパック山武事業所防災訓練(山武市)
- 5月12日(土) イーストcommons清澄白河セントラルタワー防災訓練(東京都)
- 5月13日(日) 野田市あおいそら南部支部まつり
- 5月19日(土) 利根川水系連合総合水防演習(印旛郡栄町)
- 5月25日(金) 文京区立第十中学校防災宿泊体験・講演(東京都)
- 5月26日(土) 栄町シルバーセンター防災訓練(印旛郡栄町)
- 5月26日(土) 八千代市小板橋防災訓練(八千代市)

- 5月26,27日(土日) 睦沢町「こども防災アカデミー」(睦沢町)
- 5月28日(月) 青稜中学校・高等学校教員向け防災研修(東京都)



～新会員の紹介～

2018年3月以降、以下の方々が北部支部の会員になりました。
北部支部の会員数は107名です。(2018年6月12日現在)

佐々木健一さん(八千代市)	丸 和史さん(長生村)
河野昌雄さん(睦沢町)	倉持 彰さん(柏市)
児玉 猛さん(市川市)	今井富雄さん(睦沢町)
仲野 寛さん(睦沢町)	若菜亜衣子さん(睦沢町)
松浦照雄さん(山武市)	大塚晃一さん(大網白里市)

編集後記

一気に夏となりました。

今月号から新シリーズ「地区防災の推進」を始めました。会員の皆様が居住地で防減災力向上のために努力されている様子をご紹介し、その中から地域での防災活動を持続・発展させるための大切なポイントなどを皆さんで共有したいと考えています。ぜひ「わが地域ではこのように進めています」という体験談をお寄せ下さい。「これからやる」「現在進行中」など、どのステージでも結構です。活動報告や会員短信のかたちご紹介させていただきたいと思います。今月号では筒井防災士に登場していただきました。本年 1 月に亡くなられた藤下 進防災士と共に習志野地域で長年にわたり活躍されており活動現場から得られた智慧は学ぶことが大変に多いと思います。

広報担当：茂木 宏 飯岡 孝 中村あや子

事務局の連絡先：竹内哲志 (takeuchi.srmmp@nifty.com)

広報担当の連絡先：koho.chibakita.bousaisi@gmail.com

